

NPO 富里のホタル

NPO法人 NPO富里のホタル 編集委員会 発行 2014.05.28 第31号

●「知ってほしい！富里の自然 ～谷津の春をつまみ食い～」

天気恵まれて、春が匂い立つような4月12日、天神谷津で「春をつまみ食い」して見ました。ヤマザクラが咲き、雑木の新芽が吹き始めた谷津の全景をスケッチした後、その中へ歩き始めました。外から見て想像したものと、実際に、そこに身を置いた時の違いを感じて欲しいという意図です。

ゆっくりと一回りした後、いよいよ昼食。身のまわりにある何でもない食材での食事でしたが、大好評でした。参加者にも、スタッフにも、楽しい一日となりました。



まずは、全景をスケッチ。そして、春の谷津へ・・・



食べてはいけない野草の見分け方



谷津の働きをクイズ形式で考えてみました



子供はザリガニ釣りに夢中、大人もつつい熱中



天気の良い野外で、「春をつまみ食い」

【本日のお品書き】

- ・野草の天ぷらいろいろ
- ・椎茸、タケノコの天ぷら
- ・タラの芽の天ぷら
- ・竹飯盒で炊いたご飯
- ・タケノコご飯、焼きタケノコ
- ・ちまき
- ・焼きおにぎり
- ・野菜たっぷりの味噌汁
- ・フキの煮物
- ・漬物



竹飯盒は水加減が決め手です



自然観察部会長の小松理事



追加注文で忙しい天ぷら屋台

●2年目を迎えた富里第一小の稲作体験学習

「田んぼの仕事の大変さを体験させたい」と言う学校側の意向で、今年からは代掻きから始める事になりました。泥にまみれて、平らに均した後、日をおいていよいよ田植え。昨年の経験から、今年は苗を植える方法を工夫したところ、児童達が横一線でスタートし、そのままの隊列でゴールすることが出来ました。子供達の懸命な様子を写真で御覧下さい。



始めに、地元農家の方から田植えのお手本を見せてもらう



平らに均しているつもりだけど...泥って意外と重たいね！



「ちゃんと植えないとお米が獲れない」



スタートから1時間40分。一度も休まず、まもなくゴールイン



なぜかこんなに泥だらけ



足の指先まできれいに洗って、帰り支度

●SAVE JAPAN プロジェクト助成金

このプロジェクトは、「いきものが住みやすい環境づくり」を行うもので、損保ジャパン・日本興亜損保が全国の団体に資金提供します。私達「NPO 富里のホタル」が、今年度の千葉県団体に選ばれ、80万円の助成金を交付して頂ける事になりました。

制約が少なく、使い勝手の良い助成金で、必要なもの・やりたい事が多く、資金が不足気味の私達には、とても有難いものです。以下のような用途を計画しています。

- ・イベントの開催(自然観察会等)
- ・天神谷津の整備(木道・ロープ柵補修等)
- ・機械・備品の購入(刈払機・物置等)



●市民活動支援補助金 交付申請提出 6月より事業開始



▲間伐後の斜面林

昨年度、天神谷津と中沢城址での、間伐・植樹に補助金を交付して頂き、斜面林の整備を行いました。今年度は、それをさらに進める計画に対して、補助金交付が決定しました。

具体的には、極相種であるシラカシ・スダジイなどを伐採し、そこに落葉樹を植える予定です。それによって、明るい雑木林を復元し、良好な景観と豊かな生態系を取り戻そうという計画です。昨年度と同様の二ヶ所で行います。



▲植樹後半年、芽生えた苗木

●第7回通常総会が終わり、新年度スタート

2月15日、中沢区集会場で通常総会を開催し、3つの議案が審議されました。いずれも満場一致にて可決承認され、新年度の事業がスタートしています。

- (1) 平成25年度の事業報告、事業収支決算及び会計監査報告について
- (2) 平成26年度の事業方針、事業計画及び事業収支予算について
- (3) 役員辞任・選出について

総会終了後には、会員手づくりのケーキ・クッキーを頂きながら、スライドショーを見てもらいました。「私達の活動紹介」は、私達がどのような事に取り組んでいるか、対外的に知ってもらうためのもので、その最新版を披露。続いてお馴染み、山崎理事の「昆虫の話」は、いつもながら興味深く楽しいもので、多くの質問が出ていました。



●とみさと市民活動フェスタ

2月22日、市内で社会貢献活動を行っている34団体が、富里中央公民館に集合。ここでは各団体が、日頃の取り組みを発表したり、活動写真などを展示して、来場者にアピール。私達も、お揃いの黄色いプレーカーを着て、来場者と交流を深めました。昔遊びや、スポーツ吹き矢などの体験コーナーもあって、子供達に好評だったようです。今年は、富里高校の生徒達による運営ボランティアや、小学生による子供記者が活躍し、フェスタを盛り上げてくれました。又、昨年より親子連れの参加が多く、会場が賑わいました。



福祉ショップ「フレンド富里」の手作りクッキーに人気集中



各団体のブースを巡り、熱心に取材する子供記者

展示ブースの前で、ケーブルネット206の取材を受ける

●希少な動植物の調査結果

2月から4月にかけて、計画的に希少種の調査を実施しました。徐々に里山保全の成果が現れています。

- ニホンアカガエル(卵塊)
 - …天神谷津 137個(前年+53、+39%)
- カタクリ
 - …久能地区 320株(前年+58、+18%)
 - …中沢城址 200株(前年+4、+2%)
- センダイタイゲキ(花株)
 - …久能地区 64株(前年+45、+70%)
- フクジュソウ
 - …大和地区 1424株(前年+173、+13%)



ニホンアカガエル(A)



アカガエルの卵塊



カタクリ(B)



センダイタイゲキ(B)



フクジュソウ(A)

千葉県レッドリスト
A: 最重要保護生物
B: 重要保護生物
C: 要保護生物

●パンフレット 「知ってほしい! 富里のこと」

私達の祖先が富里につくり出し、残してくれた素晴らしい自然環境。それが今、失われつつあります。しかし、いまだ残るものも少なくありません。その事を、まずは一人でも多くの方に知ってほしい。そのような思いで、編集委員一同が苦心して作りあげたものです。富里の美しい風景、そこで息づく生きものたち、それらが在る事の価値、その中で成長して行く子供達。



そのような事を思い浮かべながら、作業を進めました。まずは手にとり、感想・御意見などを頂ければ、と望んでいます。尚、このパンフレットは、(財)千葉県環境財団「豊かで美しいちばの自然環境保全支援事業」の助成を受けて作成しました。会員の皆様、自然観察会などのイベント参加者、私達と関わりのある他団体などにお渡ししています。

★天神谷津★ いのち 生命のにぎわい

ガマズミ(莢蒾)

高さ2~3mの落葉低木。林の縁で、陽を求めるように生えています。天神谷津では5月中旬に、明かりをともしたように、鮮やかな白い花を咲かせます。秋に熟す赤い実も印象的で、その実はクエン酸を多く含み、とてつもなく酸っぱいのですが、霜にあたるとさらに深い赤になり、多少ですが甘みが出て来ます。その頃になると、待っていたように小鳥たちがやって来て、さかんについばみます。子供の頃に食べたガマズミの実を思い出すぐらいで、今でも口の中が酸っぱくなります。



ガマズミの花と実

会員紹介

おの けいこ 小野 景子さん (58歳) 江戸川区在住



私が小学生の頃、梅雨の終り頃だったでしょうか、ある夜、会社から帰ってきた父が、庭の木の下にそっと何かを置いたのです。私と妹は、何を置いたのかとその木の下を見てみると、小さな虫かごの中に笹の葉がいっぱい入っていて、その葉の裏で小さな黄色い光がポツ、ポツと点いたり消えたり。「あっ、ホタル！」生まれて初めて見たホタルでした。その頃、「公害」という言葉があちらこちらで聞かれるようになった頃で、私の住む住宅街に自然のホタルは無縁の存在でした。虫かごの中で光っているだけのホタル、そのホタルが自然の中でゆらゆらと飛んでいる！そんな光景を富里で見たとき、ホタルを呼び戻した人たちの努力に頭がさがり、この景色を少しでも多くの人に教えてあげたいと心から思いました。

NPO 富里のホタルは、谷津田などでホタルの発生を指標とした自然保護活動を行っています。

会員募集

活動に関心のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。(年会費:2000円)

【連絡先】NPO 法人 NPO 富里のホタル 理事長 草野孝江 ☎ 090-3499-9161
事務局メールアドレス okamoto@themis.ocn.ne.jp

現在の会員数: 0177